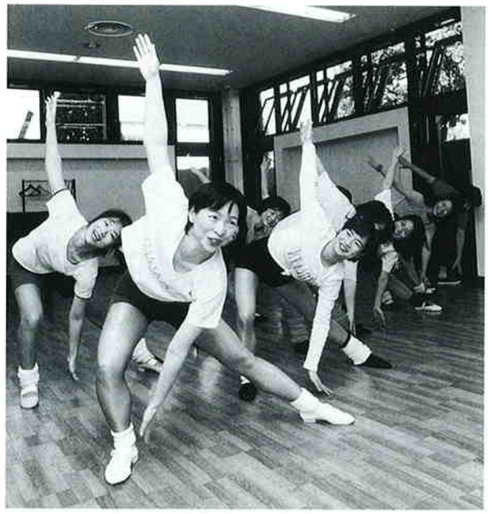
REPORTER'S EYE

ピアノやお花の発表会に 気軽に市民会館を利用しませんか



【リポーター】
清水文子さん（入間川在住）

今回は郷土芸能の振興や親しみやすい値段で質の高い芸術を提供してくれている市民会館をご紹介します。

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることがらを、市民のかたがリポートします。

市民会館は皆さんの文化活動を応援します

私は、4年前に生活条件に恵まれた狭山市の入間川地区に引っ越してきました。春先の花の咲く時期には、入間川沿いのサイクリングロードに子どもたちとよくでかけています。

そんな私が、今回、市民会館をご紹介することになりました。

市民会館を最初に利用したのは、夏休みに子どもたちとアニメ映画を見にきたときのことでした。今では、入間川東小学校ＰＴＡの家庭学級のときに知り合ったことが縁となり、リハーサル室で毎週一回木曜日の午前中に開かれているマイ体操（リズム体操）に通っています。皆さんもお子さんのピアノ発表会や演奏会などで、ここに訪れたことがあるのではないでしょうか。

狭山市市民会館
（入間川2－33－1・☎53－9101）

では、市民会館の役割などについて鳥居事務局長におうかがいしましたのでご紹介します。まず、市民会館といえば、1千398席の大ホールで開催されるオーケストラやミュージカルなどではないでしょうか。この座席数は大きすぎず、小さすぎず、まことに利用しやすいと利用者のかたがたから評判がよく、近隣の同様の施設と比べても年間の利用率は大変よいのだそうです。また、市民会館主催で行う事業は、自主文化事業といい、地域文化向上のために親しみやすい価格で鑑賞できるように努力している事業だそうです。今年もこれまで「ベンチャーズ」のコンサートなど多くの催しが開催されたそうです。私も小学生になる子どもたちをつれて、アラジンと魔法のランプを観ましたが、大きな顔のぬいぐるみたちのユーモラスで迫力のある演技に、こどもたちは食い入るように舞台に見入っていました。来年の1月18日（土）にも「来生たかお」コンサートを開催するなど質の高い催しを計画し、皆さんをお待ちしているそうです。本当に楽しみですね。また、貸し館事業としては大ホール、小ホール（364席）での子どもたちのピアノ発表会や中学校、高校の生徒さんたちの音楽発表会、2部屋ある和室での生け花教室、着付け教室、和裁教室、6部屋ある会議室なども利用が多いのだそうです。施設利用の穴場は、私たちが利用しているリハーサル室で、大ホールとのセット利用時でない限り、個人でも利用できることが多く、健康体操などには最適の場所です。そして、2階には喫茶「シャルモ」という名のコーヒーや軽食が楽しめるくつろぎの場所もあります。

11月1日から狭山・所沢・飯能・入間4市による相互利用がスタートし、このような各市の施設が大変使いやすくなったそうです。これからも、郷土芸能の振興や市民参加型の自主事業の運営に一層力を入れ、より親しまれる施設にしていきたいとのことでした。

Opinion コーナー

VOL.27

豊田初美さん
（青柳在住）

気軽に楽しく リサイクル

時間に余裕ができ、何か始めたいと思っていた矢先、広報さやまに掲載されていた「フリーマーケット実行委員募集」の記事が目に止まりました。ボランティアというよりも楽しめそうな内容だったので、さっそく申し込み、活動を始めたところです。以前にも、新狭山ハイツでフリーマーケットを実施したいと思い、数人の友人に聞いてみると、あげるにあげられない、捨てるに捨てられない物が沢山押し入れの中にあるということでした。当時中学生の間でも数年前の古いジャージーがはやっていてひっぱりだこということを知り、中学生も誘ってみました。思い立ってから2か月の短い期間に、協力者へのお願い。「使ってよ！譲ってよ！」の見出しでチラシを作り、出店者の募集、開催日のお知らせなどと忙しい毎日でしたが、「楽しみにしているからね」ということばに励まされ「楽しく第1歩を踏み出せればいい」という助言に支えられ、協力してくれるかたがたと出店者の輪ができました。開催当日、思っていたより出足は好調。いろいろな物が並びました。今回のようすをみて、次は出店したいという人もいて楽しみです。

楽しみながら少しでも資源のリサイクルに役立つフリーマーケットに皆さんも参加してみませんか。

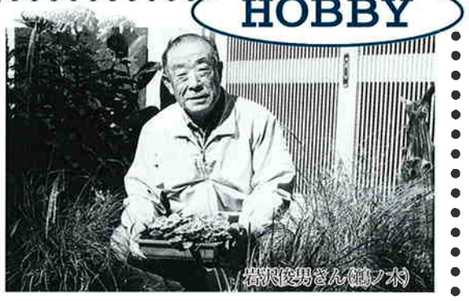
狭山の生態系シリーズ⑳

ショウリョウバッタ

撮影…県生態系保護協会狭山支部
高橋昇さん（中新田）

直翅目バッタ科。体の大きさは、オスが約52㎜、メスが約82㎜と大きさがかなりちがっています。体の色は緑色か灰色がかった褐色をしていて、日本全土に分布し、平地の草原に多く生息しています。オスは飛ぶときに前ばねと後ろばねを打ち合わせて「キチキチキチ…」と音を出します。成虫は、7～10月ごろの旧暦のお盆（精霊会）のときによくみられるのでこの名前がついたといわれています。

HOBBY



福沢俊男さん（瀧ノ木）

山草

山のなかにひっそりと生えていて、目立たないけれどよく観ると透きとおるような可憐な花を咲かせるもの。スッ！スッ！と一直線に真っ赤に伸びている「ベニチガヤ」。仕事の疲れを癒すために始めた山草ですが栽培してみると奥が深く失敗の連続です。今は、ただ自然の中を散策するのではなく、ふだんは見落としていた光の当たり具合など、その植物が生えている自然の様子を細かく観察するようになりました。これからは、ハーブなども栽培したいと思っています。

エネルギッシュ 狭山の企業⑳

これがレストラン「みづきの」

生まれ育ったこの土地で これからも皆さんのお役に立ちたい

狭山貨物運輸㈱（入間川3146－2）☎59－6231

狭山市に生まれ育った代表者・野口建司は、畑をトラックに替え、31年前に狭山貨物運輸㈱を創業。その後、特種車両を多数保有、重量品輸送を主に、倉庫業、リース業、さらに整備部門を独立させ、昭和47年には野口自動車㈱を設立しました。普通車から大型特種車両の整備、損害保険代理など皆さんのお役に立てるよう、鋭意努力しています。また、今年の6月には、柏原の河川敷に、和風レストラン「みづきの」とショートゴルフコース「狭山市リバーサイドゴルフコース」が、新たな憩いの場としてオープン。畑ちがいの事業ですが、今後も積極的に多角化を推進し、この狭山にしっかり根をはっていきたいです。